

入試説明会 Q&A (2021年8月入試)

※説明会当日の質疑応答順とは異なります。また一部補足等されています。

【入試関連】

Q1. どういった学生を求めているのか？

A1. 地球環境学舎の設立趣旨、目的、教育目標、アドミッション・ポリシーなどを参考にしてください。

Q2. 募集研究室を知るには？

A2. 募集分野に関しては、募集要項を確認してください。

Q3. 分野別の筆記試験とは、どういうことか？

A3. 志望する分野毎に試験を受けることになります。

Q4. 入試勉強に関して、希望する研究室の教員に確認してもよいか？

A4. 入試問題等に関する問い合わせは一切受け付けていませんが、ご自身の研究分野における勉学の進め方等の確認については分野および教員によって対応は異なります。まずは、メール等で連絡を取ることをお勧めします。

Q5. 英語の試験に関する決まり事は？また英語スコアの提出は試験当日でよいか？

A5. TOEIC などでも様々な試験の種類があるので、しっかりと募集要項を確認してください。なお、今年度の英語スコアの提出は、試験日前日(8/30)の午後5時までオリジナルのスコアを地球環境学舎事務室に郵送してください。出願書類に同封しても構いません。

Q6. 口頭試問で注意すべき点は？

A6. 募集要項およびVIDEOを確認してください。修士課程では、基礎学力、問題設定能力、研究能力、設問理解度、応答能力、出願書類の内容となっています。博士課程では、研究能力、研究計画の妥当性、表現能力、出願書類の内容となっています。博士の論文草稿に関しては、研究能力、研究の進捗状況、研究の妥当性、表現能力、出願書類の内容となっています。

Q7. 過去問題の入手方法について

A7. 地球環境学舎ウェブサイトに掲載しているアドレスにメールを送信してください。

Q8. どのような出身学部の学生が地球環境学舎で学んでいるのか？

A8. 地球環境学舎が学際的な教育を行うことを目標としているため、文理双方に多岐に渡っています。所属の研究室によってその比率は大きく異なります。社会科学系の研究室の場合は、理系学部の出身者で社会科学系に移ってくる方もいますし、その逆もいます。

Q9. 京都大学内部生と外部生の割合は？

A9. 地球環境学舎は他の研究科の多くと比べると、他の大学の出身者が多くいます。留学生の割合も高く、様々な大学、学部および国の出身者など多様な学生が集まっている研究科です。

【教育課程関連】

Q10. 授業の受講はオンラインでも可能か？

A10. 新型コロナウイルス感染症の状況を鑑みて、京都大学では全学の方針が決められます。これに基づいて地球環境学舎でも対面またはオンラインでの受講を決定します。ただし、原則対面で実施する場合でも、留学生の比率が高い地球環境学舎には入国ができない学生も多くいるため、ハイブリッド方式（対面とオンラインを併用）で行っている科目が多数あります。特に必修科目や研究室のゼミなどはハイブリッド形式での実施が行われています。

Q11. 社会人学生の配慮、仕事の両立は可能か？

A11. いくつかの側面があり、一概には回答できませんが、基本的には両立は可能だと言えます。まず博士後期課程ですが、博士論文研究が大きな割合を占めています。これは、主には、指導教員の指導や研究室ゼミでの発表等々からなっています。実際に地球環境学舎の博士後期課程には多くの社会人が所属しています。

一方、修士課程に関しては、科目の履修があるので、その時間の確保が必要となります。また、講義科目だけでなく、フィールドワークへの参加や一定の期間に集中して行われるような科目もありますので、そういった時間への確保が必要です。ただし、これらの講義科目は、1年次の前期に集中していますので、これらを留意してください。また、必修科目となっているインターンシップに関しては、読み替えの制度がありますので、こちらも検討してください。

なお、地球環境学舎では、所定の修業年限（修士2年、博士後期3年）を超えて一定期間にわたり計画的に教育課程を履修できる制度である長期履修制度が導入されています。指導教員とよく相談のうえ活用ください。

Q12. インターンシップ研修の具体的なイメージを知りたい。

A12. 研修期間は、修士課程の場合は3か月、博士後期課程（環境マネジメント専攻）の

場合は5か月以上が求められています。研修内容はインターンシップ先によってかなり異なります。例えば、民間企業や財団法人でインターンシップを実施した場合には、そこでの業務の一環を担うということもあるかと思います。一方、研究機関や調査機関でインターンシップを実施した場合には、自分の研究テーマに近い研究を行い、レポートなどを提出することを求められるケースもある。また、大学でのインターンシップを行う場合もあり、この際には大学での講義を聴くということではなく、その大学が位置する地域での調査を行うなど学究的な活動を行うこととなります。このようにインターンシップ研究は、そのインターンシップ先によって多様であるため、これらを考慮してインターンシップ先の選定を行ってください。

Q13. インターンシップ研修を決定するにあたってのスケジュールは？

A13. 4月にインターンシップ研修に関するガイダンスを実施します。この際に、規定、提出書類や経済的支援の可能性などの案内があります。そして、所属する研究室の指導教員とよく相談しながら夏前には決定するという流れになっています。

Q14. コース認定制度について、4つの中から最大2つまで申請できるということだが、コース毎に設定されている講義などがあるのか？

A14. 修士課程にはコース毎に設定されている講義があり、そちらを履修する必要があります。入学ガイダンスおよびその際に配布される学事要綱に講義が示されていますので、入学後に確認していただくことになります。

Q15. 修士論文や学位論文は英語での執筆が求められているのか？

A15. 英語または日本語です。